



# 令和3年度宮城県公立学校 教員採用候補者選考要項

宮城県教育委員会

新型コロナウイルス感染症拡大のため、内容の変更等が予想されます。宮城県公立学校教員採用情報 Web ページ（巻末参照）を定期的にご覧いただきますよう、お願いいたします。

令和3年度（令和2年実施）宮城県公立学校教員採用候補者選考（仙台市立学校を除く）を次のとおり行います。

## I 出願期間・選考試験の期日等

### 出願期間

令和2年4月20日（月） 午前9時～

令和2年5月15日（金） 午後5時

※原則としてインターネットによる電子申請は、出願最終日の午後5時までに完了してください。

※電子申請利用者IDを取得後、電子申請をしてください。

### 第1次選考

令和2年7月18日（土）

### 第2次選考

令和2年9月3日（木）～5日（土）、10日（木）～13日（日）のうちの1日

令和2年9月12日（土）※実技試験

## II 昨年度からの主な変更点

### (1) 小学校実技試験の廃止

小学校実技試験を廃止します。

### (2) 宮城県元職特別選考の実施

宮城県の公立学校で本務教員として36月以上の勤務経験があり、出願時点で退職後10年以内の者について、第1次選考の筆記試験（専門、教養）を免除します。適性検査は受検が必要です。

### (3) 他県等現職者特別選考の実施

宮城県以外の自治体において、出願時に学校教育法第1条に定められた学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭として継続して24月以上勤務している者について、第1次選考の筆記試験（専門、教養）を免除します。適性検査は受検が必要です。

### (4) 教職経験者特別選考の変更（要件の緩和）

現在実施している「教職経験者特別選考」を変更し、該当者の枠を拡大します。

### (5) 高等学校「地理歴史」「公民」出願者に対する加点措置

高等学校「地理歴史」出願者で「公民」の普通教員免許取得あるいは取得見込みの者、または「公民」出願者で「地理歴史」の普通教員免許状の取得、あるいは取得見込みの者に、第1次選考に5点を加点することとします。

### (6) 総合ランク「Cランク」の受験者に対する追加合格制度

教員採用候補者選考の10月下旬の名簿登載者発表にて「Cランク」となった受験者を対象として、教員需給上名簿登載者の追加が必要となった場合、追加合格にできる制度を導入します。

### Ⅲ 募集校種・採用枠・採用予定人数

校種・職種・採用枠等		教科(科目)・要件等	志願に必要な免許状	採用予定人数
小学校	一般枠	* 地域枠, 特別支援学校枠, 英語枠の併願はできません。	小学校の教諭の普通免許状	<b>230名程度</b> (うち 地域枠気仙沼4名, 地域枠東部5名, 特別支援学校枠10名, 英語枠10名)
	地域枠(気仙沼・東部)		小学校の教諭の普通免許状	
	英語枠		小学校の教諭の普通免許状と中学校, 高等学校いずれかの外国語(英語)の教諭普通免許状の両方	
	特別支援学校枠		小学校の教諭の普通免許状と特別支援学校の教諭の普通免許状の両方	
中学校	一般枠	国語, 社会, 数学, 理科, 技術, 英語	志願教科の中学校の教諭の普通免許状	<b>120名程度</b> (うち特別支援学校枠で採用可能な教科若干名)
	特別支援学校枠		志願教科の中学校の教諭の普通免許状と特別支援学校の教諭の普通免許状の両方	
中・高	一般枠	保健体育, 音楽, 美術, 家庭 * 保健体育, 音楽, 美術, 家庭については, 中学校, 高等学校の区別なく一括しての採用となります。	志願教科の中学校の教諭, 高等学校の教諭のいずれか, あるいは両方の普通免許状	中学校, 高等学校の採用予定人数に含む (うち特別支援学校枠で採用可能な教科若干名)
	特別支援学校枠		志願教科の中学校の教諭, 高等学校の教諭いずれか, あるいは両方の普通免許状と特別支援学校の教諭の普通免許状の両方	
高等学校	一般枠	国語, 地理歴史(日本史, 世界史, 地理), 公民, 数学, 理科(物理, 化学, 生物, 地学), 農業, 工業(機械, 電気・電子, 工業化学, 建築), 商業, 水産(航海系), 看護, 情報, 福祉, 英語	志願教科(科目)の高等学校の教諭の普通免許状(情報出願者は情報の普通免許状と情報以外の高等学校の教諭の普通免許状の両方)	<b>90名程度</b> (うち特別支援学校枠で採用可能な教科若干名)
	特別支援学校枠		志願教科(科目)の高等学校の教諭の普通免許状(情報出願者は情報の普通免許状と情報以外の高等学校の教諭の普通免許状の両方)と特別支援学校の教諭の普通免許状の両方	
養護教諭		* 養護教諭については, 校種の区別なく一括しての採用となります。	養護教諭の普通免許状	若干名
栄養教諭	栄養教諭A	宮城県内(仙台市立を除く)の公立学校で現に本務栄養職員として勤務している者	栄養教諭の普通免許状	若干名
	栄養教諭B	栄養教諭A以外の者 * 栄養教諭については, A・Bいずれの出願者も校種の区別なく一括しての採用となります。	栄養教諭の普通免許状	

### 【各採用枠について】

以下の通り要件に合致する場合には各採用枠で応募することができます。

- ・地域枠（気仙沼・東部）：気仙沼教育事務所管内、東部教育事務所管内で、採用後10年程度勤務することを希望する方。
- ・英語枠：小学校教諭として、将来、英語指導について学校の中心となって活躍することを希望する方。
- ・特別支援学校枠：特別支援学校を中心に専門的な指導を行うことを希望する方。（※他学校種で勤務することもあり得ます。）

### 【留意事項】

- \* 採用予定人数は、令和2年4月11日現在の見込み数であり、実際の採用人数とは異なる場合があります。
- \* 小学校の地域枠（気仙沼、東部）、英語枠、特別支援学校枠、また、中学校、中・高、高等学校の特別支援学校枠の志願者は第2次選考から各出願枠で選考を行います。各出願枠の選考から漏れた場合、出願校種・教科の一般枠での選考対象となります。
- \* 中学校、中・高、高等学校の特別支援学校枠は採用予定人数により、可能な教科において選考を行います。特別支援学校枠での採用を行わない教科については第2次選考では全員が一般枠での選考となります。
- \* 特別支援学校への採用を希望する場合でも、小学校、中学校、中・高、高等学校のいずれかの校種を選び、そのうちの特別支援学校枠での出願となります。ただし、必ずしも特別支援学校への勤務になるとは限りません。
- \* 日本国籍を有しない者を採用する場合は、『期限を附さない講師』としての任用となります。

## IV 選考種別・選考内容

- ・教職経験がある等の特定の要件を満たす方は、1次選考の一部試験が免除となる等の優遇措置があります。
- ・Ⅲで示すどの校種、どの採用枠で応募する場合であっても、各選考種別に優遇措置を受けることが可能です。以下に示す要件をよく確認のうえ、合致する選考種別で出願してください。
- ・各選考種の対象者であっても、一般選考に出願することは可能ですが、各選考種と一般選考など複数の選考種を同時に申し込むことはできません。

選考種別	1次選考内容	2次選考内容
一般選考	適性検査・筆記試験（専門・教養）	「p. 10～11」で示すとおり
教職経験者特別選考	適性検査・筆記試験（専門）	
他県等現職者特別選考	適性検査	
宮城県元職特別選考	適性検査	
障害者特別選考	適性検査・筆記試験（専門・教養）	
前年度の教員採用候補者選考の第2次選考において、総合ランク「C」の受験者	適性検査	

### (1) 教職経験者特別選考について

次の1)、2)、3)のうちいずれかに該当する者

- 1) 平成29年4月1日から令和2年5月15日（出願時以前3年間）までの期間に、**宮城県立又は宮城県の市町村立の学校（仙台市立学校を除く）**で常勤講師、代替養護教諭又は代替栄養教諭としての経験が**通算12月以上ある者**で、出願時に宮城県立又は宮城県の市町村立の学校（仙台市立学校を除く）の常勤講師<sup>(注1)</sup>、非常勤講師<sup>(注2)</sup>、実習助手、寄宿舎指導員、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手又は代替寄宿舎指導員のいずれかとして勤務している者。（休業等の取得者を除く）

2) 平成29年4月1日から令和2年5月15日（出願時以前3年間）までの期間に、**国内の国公立学校**で常勤講師、代替養護教諭又は代替栄養教諭としての経験が**通算24月以上**ある者で、**出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校の常勤講師（注1）、非常勤講師（注2）、実習助手、寄宿舎指導員、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手又は代替寄宿舎指導員のいずれかとして勤務している者。**（休業等の取得者を除く）

3) **出願時に学校教育法第1条に定められた学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭又は栄養教諭に継続して24月以上勤務している者。**（休業等の取得者を除く）

（注1）常勤講師の中には、宮城県内の市町村が小・中学校で臨時的任用をしている教育職員（採用条件として教員の免許状の所有を定め、勤務時間が1週あたり38時間45分以上の者）を含みます。

（注2）非常勤講師については、採用条件として教員の免許状の所有を定めているものとします。

※ 1) や2) の常勤講師等の経験は、受験予定の学校種と同一の学校種である必要はありません。例えば**特別支援学校での常勤講師等の勤務経験のある者も小学校、中学校などに**出願することができます。

※ 3) と以下の(2)の要件の違いは、3)は受験予定の学校種と同一の学校種で勤務していなくても良いのに対し、(2)は受験予定の学校種と同一の学校種で勤務している必要があることです。

## (2) 他県等現職者特別選考について

宮城県以外の自治体において、出願時に学校教育法第1条に定められた学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭として継続して**24月以上勤務している者。**

※ ただし、**受験予定の学校種と同一の学校種であること。**たとえば現在小学校に勤務している本務教員が、中学校区分に出願することはできません。また、他県の特別支援学校区分で採用された者が、小学校、中学校、中・高又は高等学校に出願することはできません。

## (3) 宮城県元職特別選考について

宮城県内の公立学校で本務教員として36月以上の勤務経験があり、出願時点で退職後10年以内の者。

\* 36月以上の勤務経験は、**受験予定の学校種と同一であること。**たとえば小学校にて勤務をしていた者が、中学校区分に出願することはできません。ただし、たとえば宮城県の小学校採用として名簿登載された者が、特別支援学校で採用され36月以上小学部で任用された経験があれば、小学校に出願することができます（中学校採用等も同様）。

## (4) 障害者特別選考について

・ 身体障害者手帳（1～6級）、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳（以下障害者手帳等という。）の交付を受けている者。ただし、手帳等に有効期限が記されているものについては、出願時に有効期限内であること。採用予定人数は若干名を予定しています。

### 【留意事項】

\* 「障害者特別選考」は宮城県内会場での実施となります。

## (5) 前年度の教員採用候補者選考の第2次選考において、総合ランク「C」の受験者について

・ 前年度の宮城県公立学校教員採用候補者選考第2次選考において、名簿登載にならなかった総合ランク「C」の受験者は、今年度の選考に限り、第1次選考の筆記試験（専門・教養）を免除し適性検査のみとします。ただし、前年度の採用選考で受験した校種・職種・教科と同一の出願に限りです。出願時に、宮城県公立学校教員採用候補者選考の「**前年度の出願者名票**」と「**前年度の結果通知書の写し**」を必要書類として提出・申請した受験者に限りです。

## 選考種別の選択例

【例①】現在、宮城県以外の公立小学校で3年間、教諭として勤務しており、小学校教諭の1種免許状・中学校教諭の英語1種免許状の両方を取得している教諭が小学校区分を志望する場合。採用時の校種は小学校区分であった。 （受験予定の学校種と <b>同一</b> の学校種で採用・勤務）		
<b>校種・職種・採用枠</b>	<b>選考種別</b>	<b>第1次選考の内容</b>
小学校・英語枠を志願	<b>他県等現職者特別選考への出願が可能</b>	適性検査
【例②】現在、〇〇市（県外）の公立小学校で5年間、勤務しており、小学校教諭の1種免許状・知的障害者に関する教育の領域を定めた特別支援学校教諭の2種免許状の両方を取得している教諭が小学校区分を志望する場合。採用時の校種は特別支援学校区分であった。（受験予定の学校種と <b>異なる</b> 学校種で採用・勤務）		
<b>校種・職種・採用枠</b>	<b>選考種別</b>	<b>第1次選考の内容</b>
小学校・特別支援学校枠を志願	<b>教職経験者特別選考への出願が可能</b>	適性検査・筆記試験（専門）

## V 出願資格

### (1) 受験者全員(次の1)～4)のすべての事項に該当する者)

- 1) 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者。
- 2) 令和3年4月1日時点で有効である志願する採用校種及び教科(科目)の普通免許状を有する者又は令和3年3月31日までに取得見込みの者。
- 3) 昭和36年4月2日以降に生まれた者。(令和3年4月1日時点で年齢が60歳未満である者)
- 4) 県内どこにでも勤務できる者。

### (2) 各選考の出願資格等 (受験者全員に該当する出願資格に加えて、以下の事項に該当する者)

小学校を志願する場合	クロール又は平泳ぎのいずれかの泳法で25m以上泳ぐことができる者。
小学校地域枠(気仙沼, 東部)を志願する場合	出願した教育事務所管内に採用後10年間程度勤務できる者。 *気仙沼教育事務所管内(気仙沼市・南三陸町) *東部教育事務所管内(石巻市・女川町・東松島市・登米市)
小学校の英語枠を志願する場合	小学校の教諭の普通免許状と中学校, 高等学校いずれかの外国語(英語)教諭の普通免許状の両方を有する者又は令和3年3月31日までに両方を取得見込みの者。
特別支援学校枠を志願する場合	小学校の教諭及び中学校, 中・高, 高等学校の出願する校種・教科の教諭の普通免許状と特別支援学校の教諭の普通免許状の両方を有する者又は令和3年3月31日までに両方を取得見込みの者。
中・高を志願する場合	志願教科の中学校の教諭, 高等学校の教諭 <u>いずれか</u> , あるいは両方の普通免許状を有する者又は令和3年3月31日までに <u>いずれか</u> , あるいは両方を取得見込みの者。
高等学校の水産(航海系)を志願する場合	水産又は商船の教諭の普通免許状に加え, 船舶職員及び小型船舶操縦者法に定める三級以上の海技士資格(航海)を有していることが望ましい。出願時に, 航海系志願者で海技士資格(航海)取得もしくは取得見込みの者は願書の資格取得欄に「〇級海技士資格(航海)」と記入すること。
高等学校の情報を志願する場合	情報の教諭の普通免許状と他の教科の高等学校の教諭の普通免許状の両方を有する者又は令和3年3月31日までに両方を取得見込みの者。なお, 採用後は情報を主に担当するが, 情報以外の所有免許状の授業を担当することもある。
高等学校の看護を志願する場合	看護の教諭の普通免許状を取得している者又は令和3年3月31日までに取得見込みの者。また, 次の①・②のいずれかの要件を満たしている者も出願できる。 ① 看護師, 保健師, 又は助産師(以下, 「看護師等」という。)の免許証を有し, 出願の時点で看護師等として3年以上業務に従事した経験を持つ者で, 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当せず, 特別免許状 <sup>(注1)</sup> 取得の意志を有する者。 ② 専門的な知識や技能を有し, 看護師等を養成する高等学校, 短期大学及び大学において, 看護に関する授業に携わった経験 <sup>(注2)</sup> を有する者で, 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当せず, 特別免許状 <sup>(注1)</sup> 取得の意志を有する者。 <sup>(注3)(注4)</sup> <b>(注1)</b> 特別免許状は, 教育職員免許法第5条第3項, 第4項に基づき, 教育職員検定に合格した者に授与される。(教育職員検定は書類審査及び面接により行う。)出願にあたっては, <b>VI 出願手続きの(2) 出願時に必要な書類</b> の「高等学校看護に出願する者」によること。上記の①, ②により出願し, 名簿登載された者は, 速やかに宮城県教育委員会に対し特別免許状の申請手続きをすることとする。申請の際の提出書類は, 別紙「特別免許状申請に関する提出書類について」を参照すること。手続きにかかる費用は自己負担とする。なお, 検定の結果不合格となった場合には, 名簿登載を取り消す。 <b>(注2)</b> 期間として最低1学期間以上にわたって携わり, 授業時間を含む勤務時間の合計が600時間以上の経験に限る。 <b>(注3)</b> 上記①, ②以外に, 看護に関するこれまでの経歴等により, 出願を認める場合があるので, 該当者は <b>出願前に必ず宮城県教育庁教職員課担当(022-211-3637)に問い合わせること。</b> <b>(注4)</b> 上記①, ②について, 特別免許状を取得する際に, 業務に従事した経験や授業に携わった経験をその経験を積んだ所属先から在職証明, 職名, 業務内容, 職務の状況等を詳細に記載した証明を受ける必要がある



## VI 出願手続

### (1) 出願方法, 出願期間

1) 出願方法：出願は、原則として「電子申請」です。

宮城県教育庁教職員課の Web ページからの出願になります。申請にあたっては宮城県教育庁教職員課 宮城県公立学校教員採用情報 Web ページ上の「電子申請マニュアル」等を参照し、専用入力フォームに正確に入力してください。

〈URL〉 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>

2) 申し込みの際に取得した「**到達番号**」と「**問い合わせ番号**」は登録状況の確認の際に必要です。

3) 後日、「採用願書」(受験番号が付されたもの)と「出願者名票」(受験番号が付されたもの)を印刷する必要がありますので、印刷が可能な環境にある**PC (パーソナルコンピューター)**から出願してください。

4) 出願期間：令和2年4月20日(月) 午前9時～令和2年5月15日(金) 午後5時 までに申し込んでください。(電子申請が令和2年5月15日(金) 午後5時までに完了しないと受付できません)

(注) 電子申請が困難な場合は、宮城県教育庁教職員課 (022-211-3637) へ問い合わせをしてください。

### (2) 出願時に必要な書類 ※宮城県公立学校教員採用情報 Web ページ(以下, 表内「教職員課の Web ページ」)

対象者	提出する書類等	注 意 事 項	
受験者全員	採用願書(様式第5号)	・教職員課のWebページ上の入力フォームに入力してください。	
	履歴書(様式第6号)	・様式を教職員課のWebページからダウンロードし、 <u>電子申請前に作成した後</u> , 電子申請の際に添付してください。なお、 <u>履歴書とエントリーシートは一続きのシートになっています。</u>	
	エントリーシート	・様式を教職員課のWebページからダウンロードし、 <u>電子申請前に作成した後</u> , 電子申請の際に添付してください。なお、 <u>履歴書とエントリーシートは一続きのシートになっています。</u>	
一次選考において一部免除希望者	教職経験者特別選考 及び 栄養教諭A	人物証明書 ・人物証明書の様式はWebページの「各種様式」からダウンロードしてください。 ・「人物証明書」は、出願者本人の記入欄に出願者本人が記入の上、所属長に作成及び送付を依頼してください。 <u>提出方法は、出願者の所属長からの簡易書留(親展)による郵送のみとします。</u> *締め切りは、 <b>令和2年5月15日(金)(当日消印有効)</b> とします。	
	他県等現職者特別選考	人物証明書	・人物証明書の様式はWebページの「各種様式」からダウンロードしてください。 ・「人物証明書」は、出願者本人の記入欄に出願者本人が記入の上、所属長に作成及び送付を依頼してください。 <u>提出方法は、出願者の所属長からの簡易書留(親展)による郵送のみとします。</u>
		在職証明書	・「在職証明書」は <b>郵送</b> により宮城県教育庁教職員課へ提出してください。 *締め切りは、 <b>令和2年5月15日(金)(当日消印有効)</b> とします。
	前年度の教員採用候補者選考の第2次選考において、総合ランク「C」の受験者	前年度の「出願者名票」	・詳細は、P4を参照ください。 ・ <b>郵送</b> により宮城県教育庁教職員課へ提出してください。
前年度の「結果通知書」の写し		*締め切りは、 <b>令和2年5月15日(金)(当日消印有効)</b> とします。	
宮城県元職特別選考	在職証明書	・ <b>郵送</b> により宮城県教育庁教職員課へ提出してください。 *締め切りは、 <b>令和2年5月15日(金)(当日消印有効)</b> とします。	
加点措置希望者	特別支援学校教諭普通免許状所有者	加点申請書	・加点申請書の様式は、教職員課のWebページからダウンロードしてください。
	英語資格等所有者	資格・スコアの証明書の写し	・加点の詳細については、P7「(3) 加点について」を参照ください。
	高等学校「地理歴史」「公民」免許状所有者	写し又は免許状の写しあるいは取得見込み証明書の写し	・ <b>郵送</b> により宮城県教育庁教職員課へ提出してください。 *締め切りは、 <b>令和2年5月30日(土)(当日消印有効)</b> とします。

障害者特別選考	身体障害者手帳 (1～6級) 精神障害者保健福祉手帳 療育手帳 のいずれかの写し	・ <b>郵送</b> により宮城県教育庁教職員課へ提出してください。 *締め切りは、 <b>令和2年5月15日(金)(当日消印有効)</b> とします。
受験上何らかの配慮を必要とする場合	配慮事項申出書	・配慮事項申出書の様式は、教職員課のWebページからダウンロードしてください。 ・ <b>郵送</b> により宮城県教育庁教職員課へ提出してください。 *締め切りは、 <b>令和2年5月15日(金)(当日消印有効)</b> とします。
高等学校看護に出願する者	実務経験及び勤務経験を証明する履歴書	・高等学校看護に出願する者のうち、特別免許状を取得する必要がある場合に提出してください。 ・ <b>郵送</b> により宮城県教育庁教職員課へ提出してください。 *締め切りは、 <b>令和2年5月15日(金)(当日消印有効)</b> とします。
第二希望制度	エントリーシートへ記入	・中学校、高等学校の校種で共通問題を使用する <b>国語・数学・英語</b> において、相当の免許を取得、または取得見込みである者は、中学校出願者が高等学校を、又は高等学校出願者が中学校を「第二希望」とすることができます。 ・中学校、中・高、高等学校の出願者で、 <b>小学校教員の普通免許状を取得、または取得見込みである者のうち</b> 、小学校へ配置されることも差し支えない者は、その旨を記載してください。

その他各選考に必要な提出物等についてはWebページ及び関係通知でお知らせします。

- \* 提出された書類等は返却しません。
- \* 記載内容に虚偽の内容があった場合は受験を認めません。また、合格を取り消す場合があります。
- \* **郵送による提出物等の送付先**

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1 宮城県教育庁教職員課 育成・免許班 教員採用担当

### (3) 加点について

- ・ 下記の加点要件に該当する者は、第1次選考試験において加点しますので、希望する者は、出願時に「加点申請書」及び「資格・スコアの証明書の写し」又は「免許状の写し」あるいは「取得見込み証明書」を提出してください。資格等を確認できない場合は、加点措置を行いません。また、取得見込みの者が名簿登載までに免許状が取得できなかった場合には、名簿登載を取り消す場合があります。

加点要件および加点	
すべての校種・職種・採用枠出願者で、次のいずれかの教員免許状を取得した者に、第1次選考において下記の点数を加点する。	
(免許状)	(加点)
特別支援学校の教諭の普通免許状、又は盲学校・聾学校・養護学校の教諭の免許状の取得者(取得見込みも含む)	2点
小学校出願者で、次のいずれかの資格・スコア・教諭の普通免許状を取得した者に、第1次選考において下記の点数を加点する。	
(資格等)	(加点)
①英語検定準1級以上 ②TOEIC730点以上 ③TOEFL(iBT)80点以上 ④中学校・高等学校外国語(英語)教諭の普通免許状の取得者(取得見込みを含む)	5点
①英語検定2級 ②TOEIC550～729点 ③TOEFL(iBT)60～79点	2点
中学校英語、高等学校英語の出願者で、次のいずれかの資格・スコアを取得した者に、第1次選考において下記の点数を加点する。	
(資格等)	(加点)
①英語検定1級 ②TOEIC880点以上 ③TOEFL(iBT)96点以上	10点
①英語検定準1級 ②TOEIC730～879点 ③TOEFL(iBT)80～95点	5点
①英語検定2級 ②TOEIC550～729点 ③TOEFL(iBT)60～79点	2点
高等学校「地理歴史」出願者で「公民」の普通教員免許取得あるいは取得見込みの者、または「公民」出願者で「地理歴史」の教員普通免許状の取得あるいは取得見込みの者に、第1次選考において下記の点数を加点する。	
(免許状)	(加点)
高等学校教諭公民の普通免許状と高等学校教諭地理歴史の普通免許状の取得者(取得見込みも含む)	5点

※ 上記加点要件における TOEIC および TOEFL(iBT) のスコアは、平成30年4月1日以降のものとしします。

## VII 大学院修士課程・指定の専攻科進学予定者・大学院修士課程1年在籍者等への採用候補者名簿

### 登録猶予について

- 第2次選考の結果合格した者のうち、国内の大学院修士課程（通信制課程を除く）、教職大学院又は指定の専攻科へ進学する予定、もしくは在籍中の者に対して、大学院修士課程および教職大学院修了並びに専攻科修了までに、その課程等を修了するとともに合格した出願区分の校種・教科等の専修免許状又は指定の資格を取得することを条件に採用候補者名簿への登録を猶予します。
- 名簿登録猶予の手続きは次のとおりとします。
  - 名簿登録猶予を希望する者は、「名簿登録猶予願い」を7月18日（土）第1次選考当日、受付にて提出してください。提出のない者については、猶予を認めません。
  - 第2次選考の結果合格した者で、1)の書類を提出した者は、第2次選考合格通知書に同封する「名簿登録猶予申請書」、「大学院・専攻科合格通知書の写し」又は「大学院在学証明書」を令和2年12月11日（金）（当日消印有効）までに宮城県教育庁教職員課へ郵送してください。
  - 宮城県教育委員会が名簿登録猶予を認めた場合、該当者に許可書を郵送します。
  - 大学院修士課程1年在籍者、教職大学院1年在籍者又は指定の専攻科への進学予定者は、令和4年度採用候補者名簿に登録します。大学院修士課程又は教職大学院への進学予定者は、令和5年度採用候補者名簿に登録します。
- 名簿登録期間は1年間とします。大学院修士課程1年在籍者、教職大学院1年在籍者又は指定の専攻科への進学予定者にあつては令和4年3月31日までに、大学院修士課程進学予定者又は教職大学院進学予定者にあつては、令和5年3月31日までに、その課程等を修了できない場合並びに相当の専修免許状又は指定の資格を取得できない場合には名簿登録を取り消します。
- 取得免許状並びに資格

課程・科	出願校種・教科	免許・資格
大学院修士課程	全ての校種・教科	合格した出願区分の校種・教科の専修免許状
専攻科	高校水産	三級海技士（航海）

## VIII 選考日時・選考内容・会場等

新型コロナウイルス感染症拡大のため、会場の追加・変更や日程・試験内容の変更が行われる可能性があります。随時、宮城県公立学校教員採用情報Webページ（巻末参照）にて確認いただきますよう、お願いいたします。

### (1) 第1次選考

- 日時：令和2年7月18日（土）
- 内容

選考種別	1次選考内容
一般選考	適性検査・筆記試験（専門・教養）
教職経験者特別選考	適性検査・筆記試験（専門）
他県等現職者特別選考	適性検査
宮城県元職特別選考	適性検査
前年度の教員採用候補者選考の第2次選考において、総合ランク「C」の受験者	適性検査
障害者特別選考	適性検査・筆記試験（専門・教養）



3) 会場：第1次選考の会場については、下記のとおりです。

なお、出願者各自の受験会場については、「出願者名票」を出願者へ交付する際に通知します。

宮城県内会場	住所
宮城県仙台第一高等学校	〒984-8561 宮城県仙台市若林区元茶畑4
宮城県仙台二華中学校・高等学校	〒984-0052 宮城県仙台市若林区連坊1-4-1
宮城県工業高等学校・宮城県第二工業高等学校 (同一敷地内)	〒980-0813 宮城県仙台市青葉区米ヶ袋3-2-1
東京会場	住所
国立大学法人 東京農工大学 小金井キャンパス (注)	〒184-8588 東京都小金井市中町2-2 4-1 6

(注) 東京会場は出願の際、東京会場での受験を選択した場合のみ東京会場で受験できます。なお、東京会場では栄養教諭A、障害者特別選考を除いた選考を行います。

4) 日程及び選考内容

月日	時刻	内容	注意事項
7月18日	9:00 ~ 9:30	受付(入室)	① 筆記試験(専門)、筆記試験(教養)共にマークシートの試験になります。 ② 筆記試験(専門)は教員として各校種・職種・教科(科目)で必要とされる専門知識等を問う問題を出題します。 ③ 筆記試験(教養)は教員として職務を遂行する上で必要な教育に関する法令、理論、知識を問う問題を出題します。 ④ 高等学校の地理歴史、理科、水産、工業の筆記試験(専門)は当該教科すべての領域にわたる共通問題と各自の専門領域の問題から構成されます。 ⑤ 中学校英語及び高等学校英語の筆記試験(専門)でリスニングテストは実施しません。
	9:40 ~ 9:50	諸注意・諸連絡	
	10:00 ~ 10:30	<b>適性検査</b>	
	10:30 ~ 11:00	採用願書等の提出	
	11:30 ~ 12:30	<b>筆記試験(専門)</b> 各校種、各教科・科目に関する専門分野	
	12:30 ~ 13:20	昼食・休憩	
13:30 ~ 14:30	<b>筆記試験(教養)</b>		

5) 提出物

第1次選考時	① 採用願書(様式第5号)	→ 電子申請システムから交付された採用願書(受験番号が付されているもの)を各自印刷し、 <b>写真を貼付したものを第1次選考当日に提出</b> してください。(注1)
	② 履歴書(様式第6号)	→ 出願時に提出した履歴書を各自印刷し、 <b>押印したものを第1次選考当日に提出</b> してください。
	③ エントリーシート	→ 出願時に提出したシートを各自印刷し、 <b>押印したものを第1次選考当日に提出</b> してください。
	④ 出願者名票	→ 電子申請システムから交付された出願者名票(受験番号が付されているもの)を各自印刷し、 <b>採用願書と同一の写真を貼付したものを第1次選考当日に持参</b> してください。(注2)
	⑤ 切手貼付用紙	→ 「切手貼付用紙」は、Webページの「各種様式」からダウンロードして各自印刷し、所定の切手を貼付した上で、第1次選考当日に提出してください。切手は必ず、 <b>94円切手1枚、290円切手1枚を貼付</b> してください。

(注) 「採用願書」及び「出願者名票」については、7月上旬までに電子申請システムを通じて受験番号及び受験会場を記載の上、各受験者へ交付しますので、各自で印刷してください。

6) 携行品

- ① 上記の提出物5点
- ② 筆記用具(B又はHBの鉛筆、消しゴム、文字や図等のない無地の下敷き等)
- ③ 上履き(必要か否かについては会場毎に異なるので、出願後に示される「受験上の注意」で必ずご確認ください。)
- ④ 昼食
- ⑤ その他(「名簿掲載猶予願い」)・・・大学院修士課程・指定の専攻科進学予定者・大学院修士課程1年在籍者等への採用候補者名簿掲載猶予を希望する者のみ

\* 携行品について、後日、宮城県公立学校教員採用情報 Web ページ（巻末参照）上で改めて連絡しますので、必ずご確認ください。

**(2) 第2次選考**（第1次選考合格者についてのみ行います）

- 1) 日時：令和2年9月3日（木）～5日（土）及び9月10日（木）～13日（日）のうち指定する1日で個人面接、集団討議を行います。また、実技のある校種、教科は9月12日（土）に実技試験を行います。
- 2) 内容：個人面接Ⅰ，個人面接Ⅱ，集団討議，実技試験（実技試験のある校種，教科のみ）
- 3) 会場：宮城県総合教育センター 〒981-1217 宮城県名取市美田園2-1-4  
（個人面接Ⅰ，個人面接Ⅱ，集団討議，「音楽」，「美術」，「家庭」，「中学校英語」，「高等学校英語」，「福祉」の実技）  
宮城県名取北高等学校 〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田103（「保健体育」の実技）
- 4) 日程及び選考内容：日程については個人毎に異なるので別途本人宛て通知します。
  - ① 個人面接Ⅰ，個人面接Ⅱ：複数の面接委員による面接を1人につき2回行います。
  - ② 集団討議：グループを変えて2回行います。
  - ③ 実技試験：下記のとおりとします。

採用校種	教科	試験内容	◎注意事項 ・ ◆準備物
中 ・ 高	保健体育	<b>【共通種目】</b> ・水泳，陸上競技，器械運動（マット），ダンス <b>《球技選択》</b> 以下の種目から事前申請した1種目 ・バスケットボール ・バレーボール <b>《武道選択》</b> 以下の種目から事前申請した1種目 ・柔道 ・剣道	◎《球技選択》及び《武道選択》の中から各1種目を選択し，採用願書の「受験教科（科目）」の欄に選択した組合せを入力（記入）してください。 ◆運動着（15cm×20cmの白布に墨又は黒の油性ペンで受験番号を記入し，胸と背中にそれぞれ1枚ずつ縫い付けてください） ◆運動靴（屋内用と屋外用を持参） ◆水着，水泳帽 ◆柔道選択者：柔道着（15cm×20cmの白布に墨又は黒の油性ペンで受験番号を記入し，柔道着の背中に縫い付けてください） ◆剣道選択者：防具・竹刀・剣道着は不要です。
	音楽	<b>【共通試験】</b> 1 8小節程度の当日指定された旋律に伴奏をつけて，母音唱又は階名唱とピアノにより弾き歌いを行います（旋律にはコードネームがついているものとします）。なお，伴奏の際に，旋律を弾いても構いません。 2 以下にあげる曲から当日指定の1曲を自分でピアノ伴奏をしながら歌唱します。 ・「赤とんぼ」（三木露風作詞/山田耕筰作曲） ・「夏の思い出」（江間章子作詞/中田喜直作曲） ・「Heidenröslein」（J.W.v.ゲーテ/F.シューベルト作曲） <b>《選択A》</b> ピアノ，管，弦，打楽器のうちの楽器で任意の1曲を演奏します。 <b>《選択B》</b> 歌曲，アリアから任意の1曲を演奏します。	◎選択A，選択Bのいずれかを選択し，採用願書の「受験教科（科目）」の欄に「音楽（選択A）」又は「音楽（選択B）」のいずれかを選択し入力してください。 ◎【共通試験】2については，調は問いません。原語で歌唱してください。また，ピアノ伴奏については，教科書に記載されている程度とします。 ◎《選択A》及び《選択B》で伴奏を必要とする場合は，伴奏者を同伴してください。 ◎《選択A》でピアノ以外の楽器を使用する場合は各自持参してください。 ◎【共通試験】2，《選択A》及び《選択B》については，楽譜を持参しても構いません。 ◆実技会場は上履きが必要ですので，必ず持参してください。
	美術	・絵画表現 ※ 時間は180分	◎課題は当日提示します。 ◆絵画用具一式（絵具は水彩絵具，アクリル絵具いずれも可），画用鉛筆，消しゴム ◆上履き

	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物（調理実習）</li> <li>・被服（被服製作）</li> </ul>	<p>◎被服及び食物実技の両方を実施します。</p> <p>◆裁縫セット，エプロン，三角巾，手拭き用タオル</p> <p>※1次選考結果発表後に以下を宮城県公立学校教員採用情報Webページ（巻末参照）で公開いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食物（調理実習）実技の調理の題材とレシピ</li> <li>・被服（被服製作）実技の被服の題材と製作手順</li> </ul>
中学校 高等学校	英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・示された資料の朗読及び英語による面接</li> </ul>	
高等学校	福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆運動着</li> <li>◆屋内用運動靴</li> </ul>

### 5) 提出物

第2次選考時	① 出願者名票	→ 第1次選考時の受付印のあるものを，第2次選考当日に持参してください。
	② 最終学校の卒業証書の写し，又は最終学校の長の卒業証明書又は修了証明書	→ 卒業見込みの者は「卒業見込証明書」を，第2次選考当日に提出してください。
	③ 教育普通免許状の写し（A4判）又は免許状取得見込証明書（これまでに免許更新講習修了確認，延期又は免許の申請をした者は，当該証明書の写しを併せて提出すること）	→ 免許状は，所有するすべての免許状の写しを1通ずつ第2次選考当日に提出してください。 なお，婚姻等により免許状記載の名字が変更されている場合には，戸籍抄本等改姓の内容がわかる書類を提出してください。
	④ 切手貼付用紙	→ 「切手貼付用紙」は，Webページの「各種様式」からダウンロードして各自印刷し，所定の切手を貼付した上で，第2次選考当日に提出してください。切手は必ず， <b>94円切手1枚，290円切手1枚を貼付</b> してください。
	* 海技士免状の写し	→ 「水産」の航海系に出願し，三級以上の海技士資格を有する者は免状の写しを第2次選考当日に提出してください。
	* 管理栄養士又は栄養士の免許状の写し（「栄養教諭」に出願し，認定講習等を受講し免許状を取得する予定の者）	→ 「栄養教諭」に出願し，認定講習等を受講し栄養教諭の免許状を取得する予定の者は，③に替えて栄養教諭の免許状取得計画書（第1次選考結果通知時に指示されたもの）と左記のものを第2次選考当日に提出してください。
* 配慮事項申出書	→ 実技試験又は面接等において，何らかの配慮を必要とする場合には，事前に宮城県教育庁教職員課へ電話連絡の上， <b>郵送</b> により提出してください。 提出の締切は <b>令和2年8月28日（金）（当日消印有効）</b> とします。	

### 6) 携行品

- ① 上記の提出物
  - ② 筆記用具
  - ③ 昼食
  - ④ その他（各教科・科目で実技試験受験時に必要な物）
- \* 携行品について，後日宮城県公立学校教員採用情報Webページ（巻末参照）で改めて連絡しますので，必ずご確認ください。

## Ⅸ 選考基準

### (1) 第1次選考

- ・ 筆記試験（専門），筆記試験（教養）の結果を選考資料とし，願書・履歴書の記載内容及び人物証明書の記載内容を勘案して総合的に選考します。
- ・ 筆記試験（専門），筆記試験（教養）のいずれかにおいて著しく低い成績があった場合には，不合格となることがあります。
- ・ 加点申請を行い，要件が満たされている者には，加点をします。

#### 1) 筆記試験（専門）

校種・教科（配点）		主な評価の観点
小学校（100点）		・小学校教員として必要な専門的知識や教養，指導力等を総合的に身に付けているか。
中学校	国語・社会・数学・理科・技術・英語（100点）	・教員として必要な教科科目の専門的知識や指導力等を身に付けているか。
中・高	保健体育・音楽・美術・家庭（100点）	
高等学校	国語・公民・数学・農業・商業・情報・福祉・英語看護（100点）	・教員として必要な教科科目の専門的知識や指導力等を身に付けているか。
	地理歴史・理科・水産・工業（共通40点・専門60点）	
養護教諭（100点）		・養護教諭や栄養教諭としてそれぞれ必要な専門的知識や指導力等を身に付けているか。
栄養教諭（100点）		

#### 2) 筆記試験（教養）

選考内容（配点）	主な評価の観点
教養（100点）	・教員として必要な教養が習得できているか。

### (2) 第2次選考

- ・ 個人面接（適性検査も含む），集団討議及び実技試験の結果を選考資料とし，第1次選考の成績，願書・履歴書の記載内容及び人物証明書の記載内容を勘案して総合的に選考します。
- ・ 個人面接（適性検査も含む），集団討議及び実技試験のいずれかにおいて著しく低い評価があった場合には，採用候補者名簿に登載しません。
- ・ 合格者は採用候補者名簿に登載します。

#### 1) 集団討議及び個人面接

選考内容	評価区分	主な評価の観点
集団討議	・集団討議を総合的に評価し，AからDまでの4段階評価を行います。	・テーマを正しく理解し，目的意識や問題意識を持ち，建設的な内容で討議ができるか。 ・他者とのコミュニケーションを円滑に行うことができる力を備えているか。
個人面接Ⅰ ・ 個人面接Ⅱ	・人物を総合的に評価し，AからDまでの4段階評価を行います。	・教育への情熱や学び続ける意欲等，教員としてふさわしい資質と能力を備えているか。 ・心身共に健康であるかどうか。 ・ものの見方や考え方が教育公務員としてふさわしいかどうか。

2) 実技試験：実技試験を行う全ての校種・教科についてAからEまでの5段階評定を行います。

校種・教科・実技内容		主な評価の観点	
中・高	保健 体育	・共通種目 ・球技選択 ・武道選択	・体育実技を指導する上で必要な技能を理解し、身に付けているか。
	音楽	・共通試験 ・選択A又は選択B	・音楽を指導する上で必要な演奏技能や表現力を身に付けているか。
	美術	・絵画表現	・美術を指導する上で必要な技能や表現力を身に付けているか。
	家庭	・食物 ・被服	・家庭を指導する上で必要な技術や能力等を身に付けているか。
中学校 高等学校	英語	・朗読及び英語による面接	・英語を指導する上で必要な技能や能力等を身に付けているか。
高等学校	福祉	・介護実習	・福祉を指導する上で必要な技術や能力等を身に付けているか。

## X 選考結果

(1) 第1次選考結果：令和2年 8月19日(水) 付けで郵送します。

(2) 第2次選考結果：令和2年10月23日(金) 付けで郵送します。

### (3) 選考結果の情報提供

第1次選考結果及び第2次選考結果については、受験者全員に対して上記の日程で郵送します。なお、総合成績ランクについては下表のとおりとします。

- 1) 第1次選考結果：筆記試験（専門教養）及び筆記試験（教養）の評定、並びに選考結果の総合成績ランク
- 2) 第2次選考結果：集団討議、個人面接及び実技試験の評定、並びに選考結果の総合成績ランク

第1次選考		第2次選考	
ランク	結果	ランク	結果
A	合格者	A	採用候補者名簿に登載される者
C	不合格者の中で、上位である	C	不合格者の中で、上位である
D	不合格者の中で、中位である	D	不合格者の中で、中位である
E	不合格者の中で、下位である	E	不合格者の中で、下位である

### (4) 追加合格制度

10月下旬の名簿登載者発表にて「Cランク」となった受験者は、教員需給上名簿登載者の追加が必要となった場合、合格となる場合があります。ただし、追加合格の通知は、令和3年1月末日までとします。

### (5) 総合ランク「C」の受験者の特別選考制度

第2次選考において総合ランク「C」になった者は、令和4年度宮城県公立学校教員採用候補者選考（令和3年度実施）で第1次選考の筆記試験（専門、教養）を免除します。

- ※ 次年度の出願時に前年度の「出願者名票」と「結果通知書」の写しの提出を要します。
- ※ 次年度の出願は前年度と同一の校種・職種・教科とします。
- ※ 第1次選考において、適性検査の受検を要します。
- ※ この制度への出願は当該年度選考に限ります。



## (6) Web ページへの掲載

選考結果については、本人宛ての結果通知のほか、受験者への情報サービスの一環として、宮城県公立学校教員採用情報 Web ページ（巻末参照）に合格者の受験番号を掲載します。

なお、正式な発表は本人宛ての結果通知書によるものとします。

1) U R L : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>

2) 掲載期間: **第1次選考結果 令和2年 8月19日(水) 午前10時 ~ 8月27日(火) 午後4時**  
**第2次選考結果 令和2年10月23日(金) 午前10時 ~ 11月 5日(火) 午後4時**

## XI 名簿登載・採用

- 第2次選考の結果で合格した者は「令和3年度宮城県公立学校教員採用候補者名簿」に登載し、採用内定とします。
- 名簿登載の有効期間は、令和3年4月1日から1年間とします。なお、令和3年3月31日までに免許状が取得できない者は、原則として、登載を取り消します。
- 教員免許更新制において、教員免許状の更新等をせず、令和3年4月1日に効力を失っている場合は、原則として名簿登載を取り消します。

## XII 勤務条件等

### (1) 給与（令和2年4月1日現在）

- 初任給

区 分	小・中学校及び義務教育学校	県立高校・県立特別支援学校
大学院（修士）修了	246,048円	246,048円
大学卒	222,976円	222,976円
短大卒	199,484円	196,368円

※上記の初任給については教職調整額（4%）及び義務教育等教員特別手当を含むものとなります。

- 前歴加算 講師等（民間企業等も含む）の職歴がある場合には、この初任給に一定の基準による加算があります。
- 諸手当 地域手当（給料+教職調整額+扶養手当の合計額の4.5%~1.5%）、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当（年間4.5ヵ月）などがそれぞれの要件により支給されます。

### (2) 勤務時間等

- 勤務時間 1週間について38時間45分
- 休日等 土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日~1月3日）
- 休暇等 年次有給休暇（4月1日採用の場合は年間15日）、産前産後休暇、育児休業 等

## XIII その他

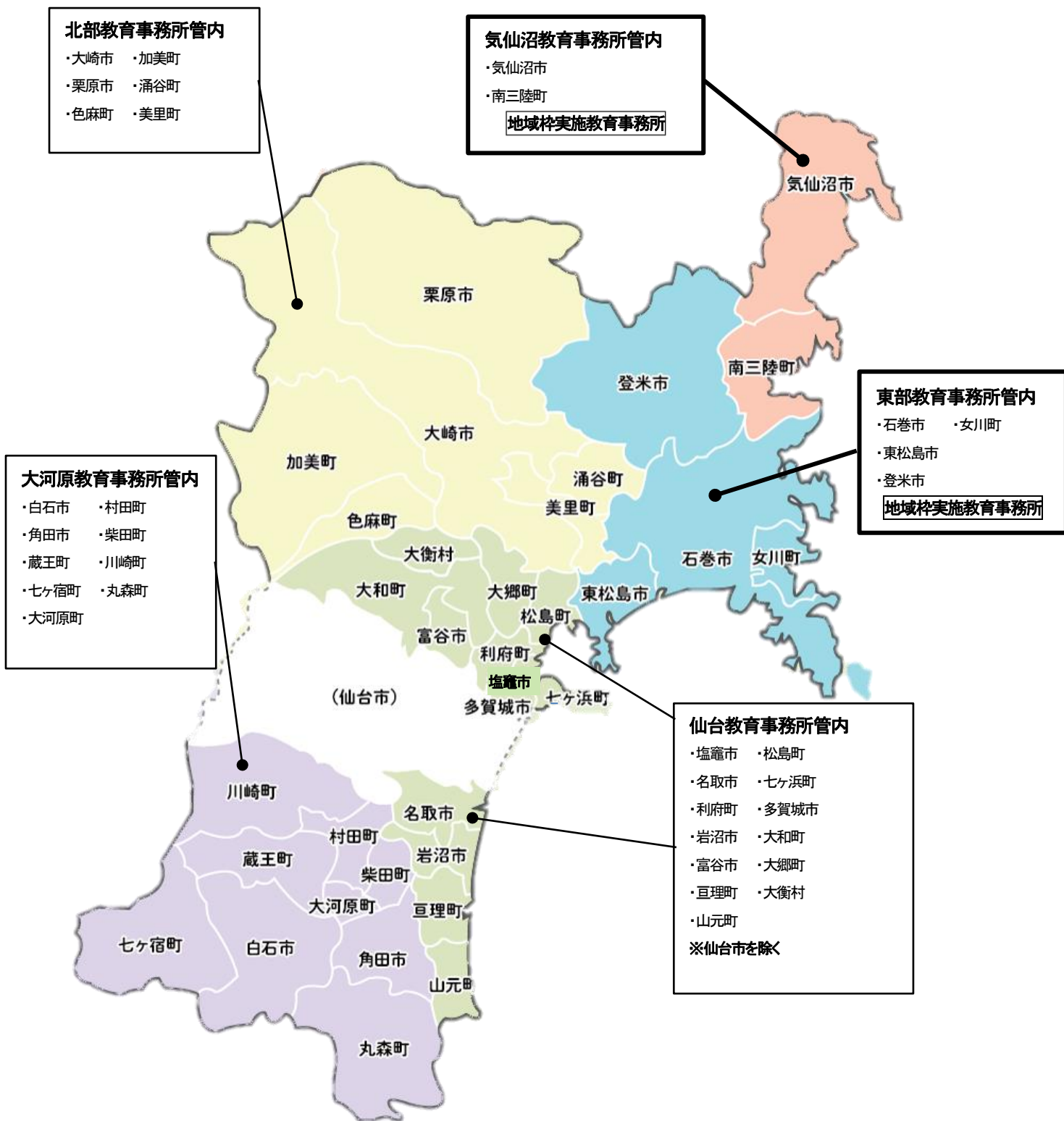
### 留意点

- 出願書類受付後に受験する校種・職種及び受験教科（科目）を変更することは認めません。また、第1次選考及び第2次選考いずれにおいても受験科目等のうち1つでも受験しなかった場合には、原則として選考の対象外とします。
- 第1次選考において、所定の写真を貼付した出願者名票（**受験番号が付されているもの**）を持参しなかった者については、原則として受験を認めません。（出願者名票に関する問い合わせは**7月9日(木)の午後5時まで**受け付けます）
- 第2次選考において、所定の写真を貼付し、第1次選考時の受付印のある出願者名票を持参しなかった者については、原則として受験を認めません。
- 第1次選考の筆記試験（専門）及び筆記試験（教養）において、開始時刻30分以降は入室を認めません。また、適性検査においては、原則として遅刻は認めません。  
(公共交通機関の遅れによる場合を除きます)
- 第2次選考の実技試験において、運動着等の実技試験に必要な物を忘れた場合は、原則として受験を認めません。
- 令和3年4月1日現在で有効な教員普通免許状の取得にかかる更新講習等で不明な点がある時は、以下の担当まで

お問い合わせください。

- 7) 新型コロナウイルスによる急な対応や荒天、災害等の緊急の事態により、教員採用選考の日程を変更する場合や、実施方法等に関して何らかの変更が生じた場合には、宮城県公立学校教員採用情報 Web ページ（巻末参照）にてお知らせします。

# 宮城県内の教育事務所担当市町村別略地図



## 問合せ先

宮城県教育庁教職員課 育成・免許班 TEL 022-211-3637

(土日、祝日を除く午前8時30分～午後5時15分)

\* 宮城県公立学校教員採用候補者選考に関する情報、新型コロナウイルスによる急な変更や台風等自然災害等による採用選考の実施に関する情報は、以下のWebページにてお知らせします。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>